

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月8日(2018.2.8)

【公開番号】特開2016-13204(P2016-13204A)

【公開日】平成28年1月28日(2016.1.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-006

【出願番号】特願2014-135434(P2014-135434)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月15日(2017.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が入球可能な第 1 入球手段とその第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、
前記第 1 入球手段に入球したことに基づいて第 1 情報を取得し、前記第 2 入球手段に入球したことに基づいて第 2 情報を取得する情報取得手段と、

その情報取得手段により取得された前記第 1 情報または前記第 2 情報に基づいて判別条件の成立を契機に判別を実行する判別手段と、

前記判別条件が成立するまでの間、前記情報取得手段により取得された前記第 1 情報と前記第 2 情報とをそれぞれ記憶可能な情報記憶手段と、

前記判別手段による判別結果を示すための識別情報が表示される表示手段と、

その表示手段に特定の判別結果を示すための前記識別情報が停止表示された場合に、遊技者に有利となる特典遊技を実行する特典遊技実行手段とを有した遊技機において、

所定条件の成立に基づいて、少なくとも第 1 遊技状態とその第 1 遊技状態よりも遊技者に有利となる第 2 遊技状態とを含む複数の遊技状態から一の遊技状態を設定可能な状態設定手段と、

その状態設定手段により前記第 1 遊技状態が設定されている場合よりも前記第 2 遊技状態が設定されている場合のほうが、前記第 2 情報を取得し易くする入球補助手段と、

前記特典遊技実行手段により実行される前記特典遊技の種別として、少なくとも第 1 特典遊技と、その第 1 特典遊技よりも遊技者に有利となる第 2 特典遊技と、を含む複数の前記特典遊技の種別から一の種別を決定可能な種別決定手段と、

前記第 1 遊技状態である場合には、前記第 2 情報に基づく判別よりも前記第 1 情報に基づく判別のほうが前記第 2 特典遊技を決定し易くし、前記第 2 遊技状態である場合には、前記第 1 情報に基づく判別よりも前記第 2 情報に基づく判別のほうが前記第 2 特典遊技を決定し易くする決定可変手段と、

前記状態設定手段により前記第 1 遊技状態が設定されている場合には、前記情報記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報のほうが、前記情報記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報よりも停止表示させ易くなるように設定し、前記状態設定手段により前記第 2 遊技状態が設定されている場合には、前記情報記憶手段に記憶された前記

第 2 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報のほうが、前記情報記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報よりも停止表示させ易くなるように設定する設定手段と、

前記情報記憶手段に記憶されている前記第 1 情報と前記第 2 情報との数をそれぞれ識別可能な情報と、前記設定手段により設定されている情報と、を遊技者が判別可能に報知可能な報知手段と、を有し、

前記所定条件は、前記特典遊技実行手段により前記特典遊技が実行されたことに基づいて成立することが可能なものであることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示手段は、液晶ディスプレイで構成されているものであることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機には、入球口が複数備えられており、その入球口への遊技球の入賞に基づいて当否が判定され、図柄等が変動表示された後に、その判定結果を示す図柄等が停止表示される。変動表示の実行中に入賞した場合は、当否の判定に用いられる入賞情報等が上限数まで保留エリアに記憶される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

しかしながら、遊技の興趣が低下するという問題点があった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は上述した問題点等を解決するためになされたものであり、遊技の興趣を向上することができる遊技機を提供することを目的としている。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

この目的を達成するために請求項 1 記載の遊技機は、遊技球が入球可能な第 1 入球手段とその第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段に入球したことに基づいて第 1 情報を取得し、前記第 2 入球手段に入球したことに基づいて第 2 情報を取得する

情報取得手段と、その情報取得手段により取得された前記第 1 情報または前記第 2 情報に基づいて判別条件の成立を契機に判別を実行する判別手段と、前記判別条件が成立するまでの間、前記情報取得手段により取得された前記第 1 情報と前記第 2 情報とをそれぞれ記憶可能な情報記憶手段と、前記判別手段による判別結果を示すための識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に特定の判別結果を示すための前記識別情報が停止表示された場合に、遊技者に有利となる特典遊技を実行する特典遊技実行手段とを有し、所定条件の成立に基づいて、少なくとも第 1 遊技状態とその第 1 遊技状態よりも遊技者に有利となる第 2 遊技状態とを含む複数の遊技状態から一の遊技状態を設定可能な状態設定手段と、その状態設定手段により前記第 1 遊技状態が設定されている場合よりも前記第 2 遊技状態が設定されている場合のほうが、前記第 2 情報を取得し易くする入球補助手段と、前記特典遊技実行手段により実行される前記特典遊技の種別として、少なくとも第 1 特典遊技と、その第 1 特典遊技よりも遊技者に有利となる第 2 特典遊技と、を含む複数の前記特典遊技の種別から一の種別を決定可能な種別決定手段と、前記第 1 遊技状態である場合には、前記第 2 情報に基づく判別よりも前記第 1 情報に基づく判別のほうが前記第 2 特典遊技を決定し易くし、前記第 2 遊技状態である場合には、前記第 1 情報に基づく判別よりも前記第 2 情報に基づく判別のほうが前記第 2 特典遊技を決定し易くする決定可変手段と、前記状態設定手段により前記第 1 遊技状態が設定されている場合には、前記情報記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報のほうが、前記情報記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報よりも停止表示させ易くなるように設定し、前記状態設定手段により前記第 2 遊技状態が設定されている場合には、前記情報記憶手段に記憶された前記第 2 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報のほうが、前記情報記憶手段に記憶された前記第 1 情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報よりも停止表示させ易くなるように設定する設定手段と、前記情報記憶手段に記憶されている前記第 1 情報と前記第 2 情報との数をそれぞれ識別可能な情報と、前記設定手段により設定されている情報と、を遊技者が判別可能に報知可能な報知手段と、を有し、前記所定条件は、前記特典遊技実行手段により前記特典遊技が実行されたことに基づいて成立することが可能なものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項 2 記載の遊技機は、請求項 1 記載の遊技機において、前記表示手段は、液晶ディスプレイで構成されているものである。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

請求項 1 記載の遊技機によれば、遊技球が入球可能な第 1 入球手段とその第 1 入球手段とは異なる第 2 入球手段と、前記第 1 入球手段に入球したことに基づいて第 1 情報を取得し、前記第 2 入球手段に入球したことに基づいて第 2 情報を取得する情報取得手段と、その情報取得手段により取得された前記第 1 情報または前記第 2 情報に基づいて判別条件の成立を契機に判別を実行する判別手段と、前記判別条件が成立するまでの間、前記情報取得手段により取得された前記第 1 情報と前記第 2 情報とをそれぞれ記憶可能な情報記憶手段と、前記判別手段による判別結果を示すための識別情報が表示される表示手段と、その表示手段に特定の判別結果を示すための前記識別情報が停止表示された場合に、遊技者に

有利となる特典遊技を実行する特典遊技実行手段とを有し、所定条件の成立に基づいて、少なくとも第1遊技状態とその第1遊技状態よりも遊技者に有利となる第2遊技状態とを含む複数の遊技状態から一の遊技状態を設定可能な状態設定手段と、その状態設定手段により前記第1遊技状態が設定されている場合よりも前記第2遊技状態が設定されている場合のほうが、前記第2情報を取得し易くする入球補助手段と、前記特典遊技実行手段により実行される前記特典遊技の種別として、少なくとも第1特典遊技と、その第1特典遊技よりも遊技者に有利となる第2特典遊技と、を含む複数の前記特典遊技の種別から一の種別を決定可能な種別決定手段と、前記第1遊技状態である場合には、前記第2情報に基づく判別よりも前記第1情報に基づく判別のほうが前記第2特典遊技を決定し易くし、前記第2遊技状態である場合には、前記第1情報に基づく判別よりも前記第2情報に基づく判別のほうが前記第2特典遊技を決定し易くする決定可変手段と、前記状態設定手段により前記第1遊技状態が設定されている場合には、前記情報記憶手段に記憶された前記第1情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報のほうが、前記情報記憶手段に記憶された前記第2情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報よりも停止表示させ易くなるように設定し、前記状態設定手段により前記第2遊技状態が設定されている場合には、前記情報記憶手段に記憶された前記第2情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報のほうが、前記情報記憶手段に記憶された前記第1情報に基づく前記判別手段による判別結果を示すための識別情報よりも停止表示させ易くなるように設定する設定手段と、前記情報記憶手段に記憶されている前記第1情報と前記第2情報との数をそれぞれ識別可能な情報と、前記設定手段により設定されている情報と、を遊技者が判別可能に報知可能な報知手段と、を有し、前記所定条件は、前記特典遊技実行手段により前記特典遊技が実行されたことに基づいて成立することが可能なものである。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

請求項2記載の遊技機によれば、請求項1記載の遊技機の奏する効果に加え、次の効果を奏する。即ち、前記表示手段は、液晶ディスプレイで構成されているものである。よって、多様な表示態様を表示できるという効果がある。